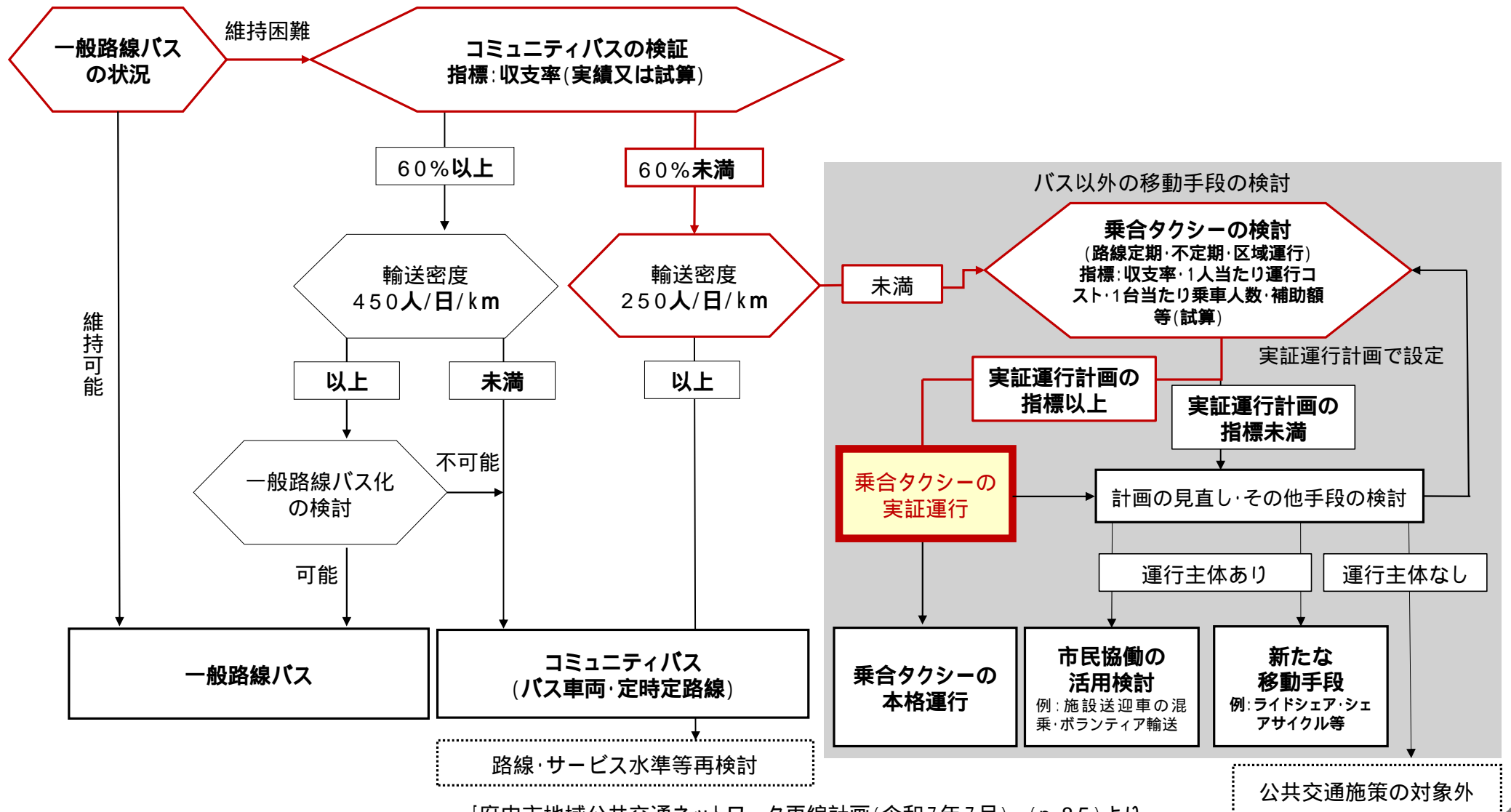


コミュニティバス(ワゴン路線)実証運行の評価について

1. 実証運行の位置付け

○府中市地域公共交通ネットワーク再編計画(令和7年7月)(以下「再編計画」といいます。)において、再編後の地域公共交通ネットワークの検証・評価は、以下の移動手段転換のフロー図に基づき行うこととしています。  
 ○コミュニティバス(ワゴン路線)(以下「ワゴン路線」という。)は、**乗合タクシーの実証運行**に該当し、このフローにおいては、「本格運行」又は「計画の見直し・その他手段の検討」の判断を行うための取組として位置付けられています。

移動手段転換のフロー図



コミュニティバス(ワゴン路線)実証運行の評価について

2. 実証運行の検証・評価方法

○実証運行は、あらかじめ計画目標等を設定し、実証運行期間中に各種データを取得したうえで、計画目標を達成するか、又は運行効率化により達成が見込めるかを路線ごとに検証し、本格運行に移行できるかなどを評価していきます。

計画目標等の設定(p.3~)

再編計画の目標等を踏まえ、実証運行における計画目標や目標達成する見込みがあるかの基準を設定する。

実証運行データの取得(p.7~)

実証運行を定量的に検証・評価するために量的・質的運行実績データを実証運行期間中に取得する。

ア 利用・事業実績の収集(量的運行実績データ)

- ・利用実績: 便別上下別停留所別乗降別利用人数 等
- ・事業実績: 収入額、運行経費 等

イ アンケート調査の実施(質的運行実績データ)

- ・利用者: 利用場面や運行サービスの改善ニーズ 等
- ・沿線住民(非利用者): 運行に関する意見、利用意向 等

各路線の実績の検証・評価

実証運行実績が計画値を達成できるかなど検証して、本格運行へ移行するか、実証運行を延長するかなどの評価を行う。

計画目標を達成する場合

運行状況の把握・評価を継続した後、本格運行へ移行。

なお、計画目標より利用者実績が大幅に多い場合(例: 乗り残しが多頻度発生等)や、運行の効率化により利便性が向上する場合等には、運行改善計画を策定したうえで本格運行へ移行。

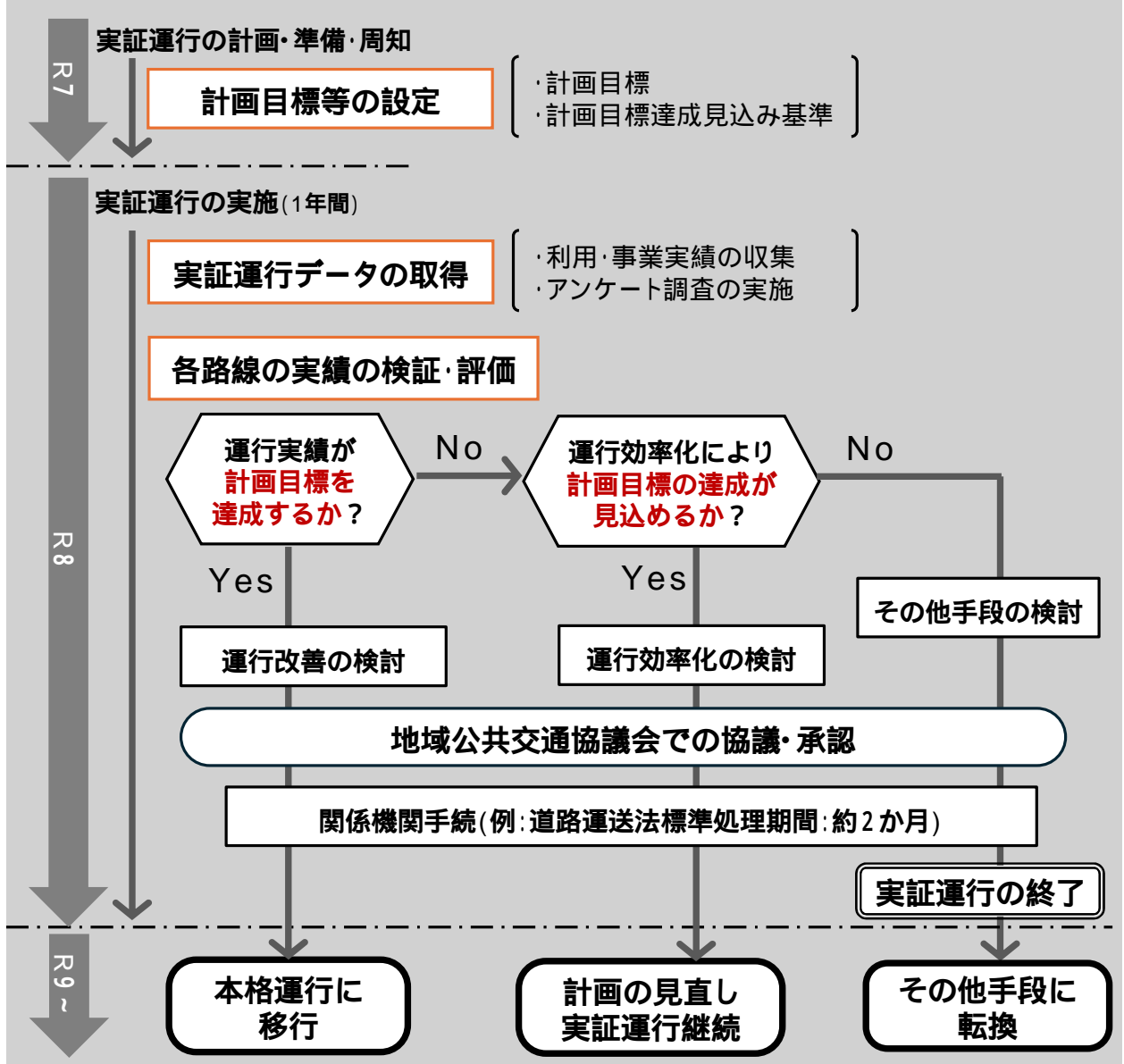
計画目標は未達成だが、運行効率化により目標達成が見込める場合

運行計画を見直し、実証運行を延長(実証運行期間は、延長含めて最大3年)。

今後計画目標の達成が見込めない場合

実証運行を終了し、その他手段検討に移行。

実証運行の検証・評価手順



## コミュニティバス(ワゴン路線)実証運行の評価について

## 3. 計画目標等の設定

○実証運行の実績を検証・評価する基準として、計画目標と目標達成見込み基準の2つを設定します。

## 実証運行の計画目標等

## (1) 計画目標:

実証運行の実績を評価し、本格運行に移行するかどうかを判断するための基準

## (2) 目標達成見込み基準:

計画目標が未達成となった場合、今後計画目標の達成が見込めるかを検証・評価し、実証運行の延長を行うかを判断する基準

## 計画目標の設定

## ア ワゴン3路線全体の計画目標

○再編計画では、再編案が、持続可能な地域公共交通ネットワークとして機能しているかについて、目標値の達成状況により評価している。

○ワゴン路線全体では、利用者数の目標値を年間15万人、収支率の目標値を20%としている。

これらを踏まえ、利用状況等がそれぞれ異なる各ワゴン路線(3路線)について、個別に計画目標を設定する。

## 令和8年度再編案の目標値

項目	目標値	評価年度
1 ちゅうバス路線(バス)の利用者数	年間210万人※1	令和8年度～
2 ちゅうバス路線(バス)の収支率	60%	令和8年度～
3 ちゅうバス路線(バス)の輸送密度	250人/日/km以上	令和10年度
4 ちゅうバス路線(ワゴン)の利用者数※2	年間15万人	令和8年度～
5 ちゅうバス路線(ワゴン)の収支率	20%	令和8年度～
6 公共交通空白・不便地域の割合	現状以下	令和10年度

※1：年間利用者数の目標値は、再編後の利用者数の推計値(バス：年間約199万人、ワゴン：年間約13万人)を踏まえて設定しています。

「府中市地域公共交通ネットワーク再編計画(令和7年7月)」(p.83)より

コミュニティバス(ワゴン路線)実証運行の評価について

イ ワゴン3路線に対する計画目標の個別設定

ワゴン3路線について、利用及び事業の見通し試算を踏まえ、各路線の中長期的な路線目標像(各路線の今後の方向性)を検討し、計画目標を設定した。

よつや苑西循環の計画目標

路線名	利用及び事業の見通し試算 (R5時点)	中長期的な路線目標像 (路線の今後の方向性)
よつや苑西循環	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者数は1便あたり12.5人、1日16便で収支率は26.5%であり、現況の「よつや苑西ルート」の状況に近い状況(それぞれ約11.5人、31.2%:p.9参照)と試算される。</li> <li>・ コミュニティバス(ワゴンタイプ)についても運行経費は増加傾向にある(p.9参照)。</li> <li>・ この試算(利用者数12.5人/便の場合)、乗り残しが1日あたり1.5人発生すると試算される(乗り残し便の発生頻度は3.1%)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 左記より、よつや苑西循環は、現況の「よつや苑西ルート」に近い運行形態で、四谷循環との分担の下、できるだけ多くの現況利用需要に対応していくことが目標と考える。</li> <li>・ この目標達成に向けては、ルートの短絡化と運行間隔の短縮を検討し、運行の効率化による利便性向上を図っていくものとする。</li> <li>・ なお、乗り残しが多頻度に発生するような場合には、運行区間の工夫・調整による四谷循環への転換等について検討していくものとする。</li> </ul>
	<b>計画目標設定の考え方</b>	
	<p>目標像を踏まえ、現況の「よつや苑西ルート」に近い利用及び事業の見通し試算値をベースに、計画目標を設定する。</p> <p>ただし、収支率試算は、運行経費を2,500万円/年(令和6年7月協議会暫定値)で設定しているが、最新の動向(p.9)を踏まえると、運行経費は約1割増(R7/R6)の2,750万円/年程度と見込まれ、この場合の収支率は24%と試算される。</p>	
	<b>計画目標(初期値)</b>	
<p><b>利用者数:75,000人</b></p> <p>運行経費が増加してもワゴン路線全体の目標収支率20%を上回るため、R5時点の既存路線の実績をもとに試算した利用者数を目指す。</p>		

コミュニティバス(ワゴン路線)実証運行の評価について

新府中街道ルート・武蔵台循環の計画目標

路線名	利用及び事業の見通し試算(R5時点)	中長期的な路線目標像(路線の今後の方向性)
新府中街道 ルート	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者数は1便あたり往復11.6人、1日8便で収支率は12.3%と試算される。</li> <li>コミュニティバス(ワゴンタイプ)についても運行経費は増加傾向にある(p.9参照)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>左記のとおり、これら2路線は利用需要が少なく、収支率も小さく試算されるものの、<b>移動ニーズをもとに設定した路線</b>である。</li> <li>現状よりも<b>利便性・効率性の高い公共交通が適正な財政負担で供給できるかどうか</b>を検証していくことがこれら2路線の方向性と考ええる。</li> <li>なお、実証運行の検証・評価の検討にあたっては、運行エリアが重なっていることを考慮し、<b>路線全体だけではなく、各路線の運行区間ごとに検証・評価</b>を行い、運行可否や運行経路等の詳細を検討するものとする。</li> </ul>
武蔵台循環	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者数は1便あたり往復5.6人と少なく、1日12便で収支率も8.9%と小さく、状況的には新府中街道ルートと同様の傾向となっている。</li> </ul>	
共通	<p style="text-align: center;"><b>計画目標設定の考え方</b></p> <p>運行経費は大きく増加しており、今後収支率がさらに低下すると見込まれる。</p> <p>よつや苑西循環と同様、<b>運行経費は約2,750万円/年程度</b>と見込まれ、この場合の収支率は、<b>新府中街道ルートで11%、武蔵台循環で8%</b>と試算されるが、<b>適正な財政負担で供給できるように収支率の改善</b>を目指していく必要がある。</p> <p>府中市の近隣他市におけるコミュニティバス(ワゴンタイプ)の事例の収支率は10%~20%(p.9参照:小金井市、国立市の例)であることを踏まえ、<b>10%に満たない場合は大幅な見直しの必要性</b>を検討する。</p>	
<b>計画目標(初期値)</b>		
新府中街道 ルート	<p><b>利用者数:35,000人</b> R5時点の関係路線の実績をもとに試算した利用者数を指す。</p>	
武蔵台循環	<p><b>利用者数:35,000人</b> R5時点の関係路線の実績をもとに試算した利用者数は25,000人/年であるが、収支率10%以上を達成するために利用者数35,000人を目指す。</p>	

コミュニティバス(ワゴン路線)実証運行の評価について

目標達成見込み基準の設定

計画目標が未達成となった場合、運行の効率化(運行区間の見直し等)等により、目標達成が見込めるかを検証・評価し、実証運行の延長を行うか判断するための基準は次のとおり設定する。

目標達成見込み基準

<p><b>定量的基準</b> 運行の効率化により、利便性の向上が実現できること。</p>	+	<p><b>補足基準(定性的基準)</b> 利用者や沿線住民(非利用者)のニーズがあること。</p>
---	---	--

定量的基準

**運行の効率化**: 路線内に利用者数の少ない区間があり、**運行区間の見直し等(例: 区間の短絡化、経路変更、廃止等)**が実行できること。

**利便性の向上**: 運行の効率化により、利便性向上につながる**乗車時間の短縮や運行頻度増等を実現できること。**

利用者数が少ない停留所は、計画目標値から算出した停留所ごとの**1日平均利用者数**を元に総合的に判断する。

見直し運行区間は、利用者の状況や周辺の代替停留所の有無等、**見直しによる影響等を考慮した上で判断するものとする。**

← 補足

計画目標を達成するための利用者数

路線名	計画目標利用者数(年)	停留所数(上下計)	停留所片側1箇所あたり利用者数
よつや苑西循環	75,000人	16箇所	13人/箇所/日
新府中街道ルート	35,000人	24箇所	4人/箇所/日
武蔵台循環	35,000人	19箇所	5人/箇所/日

補足基準(定性的基準)

補足基準は、利用者や沿線住民(非利用者)のニーズがあるかを判断し、定量的基準(利用者数等)による検証・評価結果を裏付け・補足するものとして、アンケート調査によりデータを把握するものとする。

定量的基準を補足する利用者や沿線住民(非利用者)のニーズがあるか判断

把握するニーズ、判断基準、取得方法

区分	把握するニーズ	把握指標	利用ニーズの判断基準	取得方法
利用者	<b>運行サービスに対する改善ニーズ</b> があるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>各運行サービスの<b>満足度</b></li> <li>満足度を高めるため改善意見</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運行頻度等に関する改善ニーズが多くあるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワゴン乗車者アンケート調査(p.7)</li> </ul>
沿線住民(非利用者)	今後、 <b>ワゴン路線の利用意向</b> があるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワゴン路線の<b>今後の利用意向</b></li> <li>利用するための条件(運行サービス等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運行頻度等に関する条件が合えば、今後利用したいとする意向が多くあるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>沿線住民アンケート調査(p.8)</li> </ul>

割合等の多少は、全体平均値等を基本に検討・判断する

コミュニティバス(ワゴン路線)実証運行の評価について

4. 実証運行データ調査の実施方針

- 実証運行データの取得のうち、乗降者数等の利用実績・運行経費等の事業実績は、運行事業者と協議の上、運行開始当初より取得します。
- 利用者等へのアンケート調査については、次のとおり実施します。

利用者アンケート調査

項目	内容																		
調査目的	実証運行を延長するか検証・評価するため、運行サービスに対する改善ニーズ等を把握する。																		
調査対象者	ちゅうバス(ワゴン3路線)の乗車者																		
調査規模	各路線:500人(3路線計:1,500人)																		
調査方法	車両内配架、郵送回収 (注) 回答は1回限り																		
調査時期	令和8年4月頃～9月頃 配架時期は、事業者との協議やワゴン乗車状況、調査票回収状況等を踏まえ適切な時期を設定																		
調査項目 設問内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>調査項目</th> <th>設問内容</th> <th>設問案</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運行サービスに対する改善ニーズ</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運行サービスの満足度</li> <li>・満足度を高めるための改善意見</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運行便数は普段外出する上で十分か。</li> <li>・路線・停留所は利用しやすいか。</li> <li>・利用しやすい乗車時間か。</li> <li>・利用により生活に変化があるか。</li> <li>・今後も利用したいか。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="3">その他</td> <td>利用場面</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗車・降車バス停(OD)</li> <li>・利用目的</li> <li>・利用頻度</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査日の乗車・降車バス停</li> <li>・調査日の乗車停留所までの移動手段</li> <li>・調査日の主な外出目的(具体的箇所)</li> <li>・上記目的の外出頻度</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>個人属性</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居住地 ・年齢 ・運転免許証の保有状況 ・シルバーパス保有状況</li> <li>・ワゴン路線以外で利用可能な最寄駅・バス停</li> </ul> </td> <td></td> </tr> <tr> <td>自由意見</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			調査項目	設問内容	設問案	運行サービスに対する改善ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運行サービスの満足度</li> <li>・満足度を高めるための改善意見</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運行便数は普段外出する上で十分か。</li> <li>・路線・停留所は利用しやすいか。</li> <li>・利用しやすい乗車時間か。</li> <li>・利用により生活に変化があるか。</li> <li>・今後も利用したいか。</li> </ul>	その他	利用場面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗車・降車バス停(OD)</li> <li>・利用目的</li> <li>・利用頻度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査日の乗車・降車バス停</li> <li>・調査日の乗車停留所までの移動手段</li> <li>・調査日の主な外出目的(具体的箇所)</li> <li>・上記目的の外出頻度</li> </ul>	個人属性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居住地 ・年齢 ・運転免許証の保有状況 ・シルバーパス保有状況</li> <li>・ワゴン路線以外で利用可能な最寄駅・バス停</li> </ul>		自由意見		
	調査項目	設問内容	設問案																
	運行サービスに対する改善ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運行サービスの満足度</li> <li>・満足度を高めるための改善意見</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運行便数は普段外出する上で十分か。</li> <li>・路線・停留所は利用しやすいか。</li> <li>・利用しやすい乗車時間か。</li> <li>・利用により生活に変化があるか。</li> <li>・今後も利用したいか。</li> </ul>																
	その他	利用場面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗車・降車バス停(OD)</li> <li>・利用目的</li> <li>・利用頻度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査日の乗車・降車バス停</li> <li>・調査日の乗車停留所までの移動手段</li> <li>・調査日の主な外出目的(具体的箇所)</li> <li>・上記目的の外出頻度</li> </ul>															
個人属性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・居住地 ・年齢 ・運転免許証の保有状況 ・シルバーパス保有状況</li> <li>・ワゴン路線以外で利用可能な最寄駅・バス停</li> </ul>																	
自由意見																			

コミュニティバス(ワゴン路線)実証運行の評価について

(2)沿線住民アンケート調査

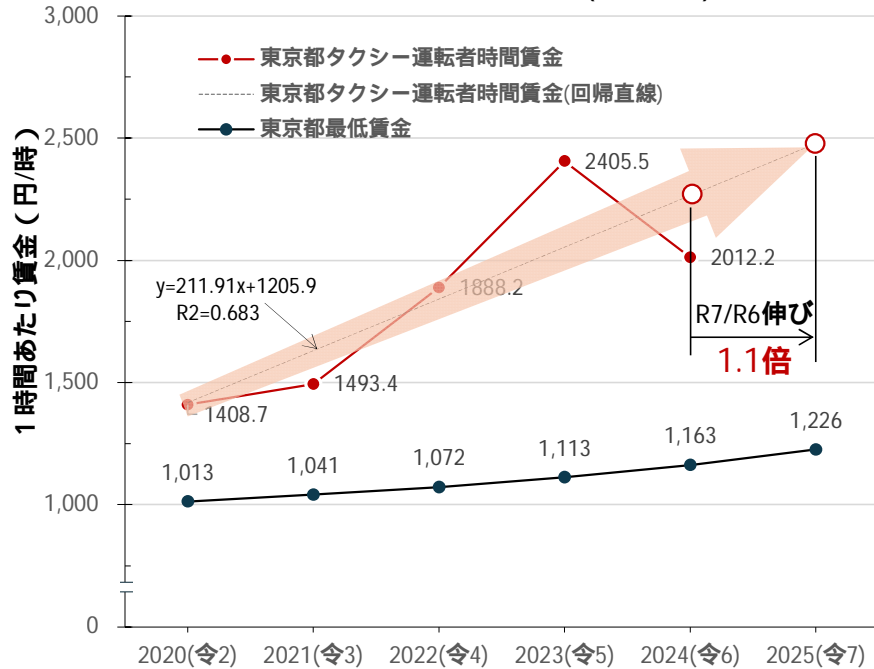
項目	内容													
調査目的	実証運行を延長するか検証・評価するため、ワゴン路線の今後の利用意向等を把握する													
調査対象者	ちゅうバス(ワゴン3路線)の沿線地域住民(15歳以上) 住民基本台帳から無作為抽出													
調査規模	各路線沿線:500人(3路線沿線計:1,500人)													
調査方法	郵送配布、郵送回収・WEB回答併用													
調査時期	令和8年9月・10月頃													
調査項目 設問内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>調査項目</th> <th>設問内容</th> <th>設問案</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ワゴン路線の今後の利用意向</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワゴン路線運行の認知状況</li> <li>・認知している人の利用頻度</li> <li>・ワゴン路線の今後の利用意向</li> <li>・利用するための条件(運行サービスの条件等)</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワゴン実証運行を知っているか。(知っている場合)</li> <li>・週に何回利用しているか。(知らない場合)</li> <li>・今後利用する意向があるか。(利用意向がない場合)</li> <li>・どこに乗車・降車停留所があれば利用するか。</li> <li>・どの程度の運行頻度なら利用するか 等</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>個人属性</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居住地、年齢、運転免許証の保有状況</li> <li>・自宅からワゴン停留所までの距離 等</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>自由意見</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			調査項目	設問内容	設問案	ワゴン路線の今後の利用意向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワゴン路線運行の認知状況</li> <li>・認知している人の利用頻度</li> <li>・ワゴン路線の今後の利用意向</li> <li>・利用するための条件(運行サービスの条件等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワゴン実証運行を知っているか。(知っている場合)</li> <li>・週に何回利用しているか。(知らない場合)</li> <li>・今後利用する意向があるか。(利用意向がない場合)</li> <li>・どこに乗車・降車停留所があれば利用するか。</li> <li>・どの程度の運行頻度なら利用するか 等</li> </ul>	その他	個人属性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居住地、年齢、運転免許証の保有状況</li> <li>・自宅からワゴン停留所までの距離 等</li> </ul>	自由意見	
	調査項目	設問内容	設問案											
	ワゴン路線の今後の利用意向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワゴン路線運行の認知状況</li> <li>・認知している人の利用頻度</li> <li>・ワゴン路線の今後の利用意向</li> <li>・利用するための条件(運行サービスの条件等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワゴン実証運行を知っているか。(知っている場合)</li> <li>・週に何回利用しているか。(知らない場合)</li> <li>・今後利用する意向があるか。(利用意向がない場合)</li> <li>・どこに乗車・降車停留所があれば利用するか。</li> <li>・どの程度の運行頻度なら利用するか 等</li> </ul>											
	その他	個人属性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居住地、年齢、運転免許証の保有状況</li> <li>・自宅からワゴン停留所までの距離 等</li> </ul>											
自由意見														
設問内容の詳細は次年度の利用状況等を踏まえて検討														

コミュニティバス(ワゴン路線)実証運行の評価について

参考: タクシー事業者の運行経費の増加見込

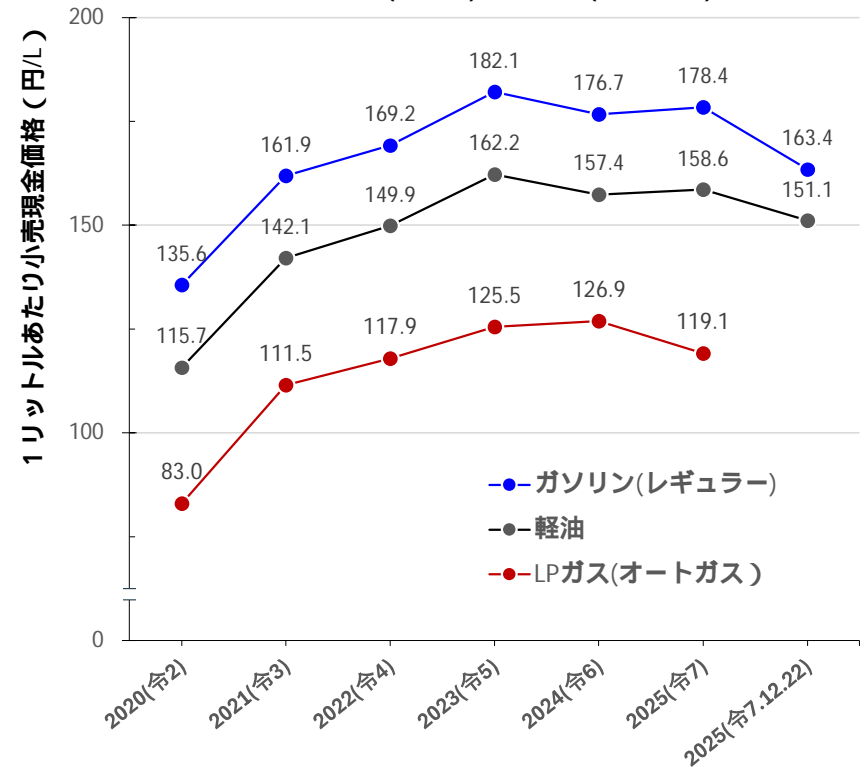
- ・ タクシー運転者の賃金は増加傾向。2025(令7)年は2024年(令6)に比べ1.1倍(推計)。
- ・ LPガス(オートガス)、軽油やレギュラーガソリンの燃料費(単価)も増加傾向。

タクシー運転者賃金の推移(東京都)



注1) 東京都タクシー運転者時間賃金には通勤手当、超過労働手当、賞与等を含む  
各年「タクシー運転者賃金・労働時間の現況」一般社団法人全国ハイヤー・タクシー連合会(「賃金構造基本統計調査(厚生労働省)」に基づき作成)より  
2) 東京都最低賃金は、厚生労働省東京労働局HPより

燃料費(単価)の推移(東京都)



注1) ガソリン、軽油は「石油製品価格調査」資源エネルギー庁HPより、各年10月の一般小売現金価格(消費税含む)、2025(令7.12.22)は最新価格  
2) LPガス(オートガス)は、(一財)日本エネルギー経済研究所(石油情報センター)HPより、各年11月の一般小売現金価格(消費税を含む)

参考: 他市におけるコミュニティバス(ワゴンタイプ)の収支率等

自治体	コミュニティバス	収支率	利用者数	出典
小金井市	CoCoバス・ミニ	R5:13.4% R6:11.9%	R5:60,567人 R6:67,643人	令和7年度第1回地域公共交通活性化協議会資料 (令和7年6月23日)
国立市	あおやぎっこ	R5:18.2%	R6:18,492人	令和6年度第2回国立市地域公共交通会議資料 (令和7年2月17日)